

課題研究審査基準

(1) 趣旨

「同志社大学大学院総合政策科学研究科は、同志社大学大学院学則第6条の9第2項に基づき、課題研究に係る評価の客観性及び厳格性を確保するため、あらかじめ明示した基準にしたがって審査を適切に行うものとする。」

(2) 審査基準

課題研究の審査に当たっては、大学院学則を踏まえ、次に掲げる各基準を総合的に評価し、課題研究としての水準に達していることを必要とする。

①内容的要件

- ・ 研究テーマの妥当性、明確性
 - 1) 研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること
 - 2) 研究課題の背景と意義が記されていること
- ・ 研究・分析方法の妥当性
 - 1) 先行研究や関連した研究を調査し、考察されていること
 - 2) 研究課題に対して分析的な手法を採用していること
- ・ 結論、結果の適切性、明確性
 - 1) 研究結果が明確に示され、その考察が適切に行われていること
- ・ 学修・研究の成果
 - 1) 研究の結果として得られた結論が、一定の研究上の意義を有すること

②形式的要件

- ・ 規定字数、枚数の要件を満たしていること
- ・ 本文、注、図、表、参考文献等の記述が、適切な体裁を備えていること
- ・ 誤字、脱字等の不備のないこと